



令和3年度 九州工業大学入学式

- 日時：令和3年4月6日（火） 11時00分～11時50分
会場：北九州ソレイユホール
式次第：
1. 開式の辞
2. 国歌演奏
3. 列席者紹介
4. 入学許可
5. 学長告辞
6. 新入生代表宣誓（大学院・学部）
7. 来賓祝辞
8. 学歌演奏
9. 閉式の辞

学歌（校歌）

西条八十 作詞
堀内敬三 作曲

一 汪洋湛々玄海の 深きに優る智を探り

曙きよき檣山の 崇き理想を仰ぎつゝ

こゝ鎮西に砦して 輝く歴史幾星霜

燦かし 我等の歴史

讃えよ あゝ光栄ある母校

二 科学の斧の一閃に 自然の神秘打ち砕き

救世の業を現すべき 希願は燃ゆる溶鉱炉

巨人の愛の学窓に 若き学徒の意気高し

燦かし 我等の使命

讃えよ あゝ光栄ある母校

三 友は集り散ずれど 蒼穹燃ゆる北筑に

築く文化の金字塔 不滅の誓い頼もしや

いでや進まん天翔ける 鳳龍の旗かざしつゝ

燦かし 我等の歩み

讃えよ あゝ光栄ある母校

式典の様子は、大学の各種広報活動に活用させていただきます。
皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

本学の伝統

九州工業大学は、昭和24年法律第150号国立学校設置法により昭和24年5月31日、明治工業専門学校を包括して設置されたのであるが、その起源は遠く明治40年、私立明治専門学校の設立にはじまる。

私立明治専門学校は明治40年、当時は稼いだお金を酒食のみに浪費する石炭成金が多い中で、安川敬一郎、松本健次郎の父子は、「国家によって得た利益は国家のために使うべきである」という信念から、わが国工業教育の向上と北九州工業地帯発展のため巨額の私財を投じて設立認可され、明治42年4月1日、4年制の工業専門学校として開校した。

創立経営を託された理学博士 山川健次郎氏の高い理想のもとに、「本校は単なる技術を授くるの場所に非ずして、人間形成の道場であらねばならぬ」とされ、すなわち「技術に堪能なる士君子」を養成するという指導精神がここに確立したのである。

その後、官立明治専門学校、明治工業専門学校を経て、現在に至ったのであるが、創立の精神は脈々として継承され今日に及んでいる。

かくして私立明治専門学校創立以来、今日までに多数の卒業生を実社会に送り出している。これらの人材は、全国各地においてわが国工業の発展に寄与し、伝統にはぐくまれたその着実な精神は産業界に高く評価されているところである。



安川 敬一郎氏



山川 健次郎氏

沿革

- 1907 (明治40) 年 私立明治専門学校設立認可
- 1909 (明治42) 年 開校
- 1921 (大正10) 年 官立移管
- 1944 (昭和19) 年 明治工業専門学校(3年制)に改称
- 1949 (昭和24) 年 明治工業専門学校を包括、九州工業大学設置
- 1959 (昭和34) 年 工学部第二部(夜間5年制)設置
- 1961 (昭和36) 年 九州工業大学短期大学部廃止
- 1965 (昭和40) 年 工学専攻科廃止、大学院工学研究科(修士課程)設置
- 1986 (昭和61) 年 情報工学部設置
- 1988 (昭和63) 年 大学院工学研究科(博士課程)設置
- 1991 (平成3) 年 大学院情報工学研究科(修士課程)設置
- 1993 (平成5) 年 大学院情報工学研究科(博士課程)設置
- 2000 (平成12) 年 大学院生命体工学研究科(独立研究科/博士課程)設置
- 2004 (平成16) 年 国立大学法人九州工業大学設置
- 2006 (平成18) 年 学生募集停止 工学部夜間主コース
- 2008 (平成20) 年 大学院改組
工学研究院・工学府(旧工学研究科)、情報工学研究院・情報工学府(旧情報工学研究科)
- 2009 (平成21) 年 創立100周年(5月28日)
- 2018 (平成30) 年 工学部・情報工学部改組(学科の再編)
- 2019 (平成31) 年 創立110周年、大学院工学府改組(専攻の再編)

校章



校章



校旗

■校章は校旗をもとに作成されました

校旗はひろく職員、学生、卒業生の間から図案を募集し、大正13年機械科卒業生中山武夫氏の作品が選定されました。校旗は鳳龍の旗と称され、その意義は明治専門学校の精神を具体化させるものです。校旗制定記念絵葉書によると、

「地彩の紅、黝（重いネズミ色を現す）は、鋼鉄及び鑄鉄の堅実に擬え、又工業の象徴たり。中央の形体は、龍に似て龍に非ず、鳳に似て鳳に非ず、正に之を超越せる霊体なり。眼より耳を通じて拡がる翼は、卓越せる聰明と無量の知識とを現はし、巨口に珠を含むは、光明円満の徳を以て、高く世に呼号せんとするものにして、本校の活動を意味す。」

とされています。

シンボルマーク



2009年創立100周年の節目に、学内公募によりシンボルマークを制定しました。



これからの未来、これからの100年
「動作・活動」= Action



今までの歴史、今までの100年
「価値・値打ち・評価」= Value



未来と歴史を1本にボルトのモチーフでつなぎとめて、全体として1本の太い棒にしています。貴かれた大学方針を表しています。



学生の飛躍感や、社会・世界へ飛び出していく元気のよいイメージ。上記と組み合わせて、九州工業大学の頭文字「K」の形になります。



A(ction) V(alue) K(yutech)の頭文字をユニットにしフレッシュで斬新なイメージのカラー使いで未来へ羽ばたいていく学生やこれからのリーダーとしていく大学を表現しました。

タグライン

未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」

タグラインとは、『九州工業大学として、常に変わらずステークホルダーに提供するコアとなる価値を言葉にしたもの』で、九州工業大学の社会に対する約束を言葉で表現したものです。

「技術に堪能なる士君子」の養成。大学のDNAとして受け継がれる安川、山川両先生のメッセージである建学の理念を現代の言葉として紐解き、世の中に約束する九州工業大学のタグラインとしました。